RODEO MOTORCYCLE
Rodeo Manufacturing Inc.
〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町454-1
Phone(027)370-4000 Fax (027)370-4400

# ナラシ運転の仕方と上限回転数について

**1. 距離 80km以降から160km まで の慣らし運転**

**上限回転数は、2500RPM 最高速は 30km～50km/h 迄となります。**まだ急激にエンジン回転は上げないでください。短いタイミングでゆっくりと回転を上げてゆく動作は、ピストンリングのナラシになります。注意深く徐々に回転を上げながらリングのナラシも行ってゆきます。この段階でも、渋滞路のオーバーヒート、長時間のアイドリング、更には高負荷、高回転は絶対に避けてください。この段階でのオーバーヒートはエンジンに多大なダメージを与えます。その為、ナラシ時の渋滞路、高速道路の走行、夏場の高温が要注意です。各部、増し締め及び、全体のトルク確認が必要です。

**2. 距離 160km～800km まで**

**上限回転数は3000rpm迄、最高速は 60km/h 迄となります。**引き続きオーバーヒートは絶対に避けてください。ナラシ時は高温になりやすいので、高速はなるべく避け、下道で常に油温を注意し、適時冷やしながら走行距離を伸ばしてください。注意事項は、160kmまでの段階と基本同じです。800km 走行時点で1度エンジンオイルの交換を推奨しています。ここでもトルク確認要です。

**3. 距離 800km ～1600km まで**

**上限回転数は3500rpm迄です。**ここから先が第一段の慣らし運転の区切りとなります。日常的な運用は行なえますが、引き続き急なアクセルワーク、継続的な高回転、高負荷になりやすい高速道路、渋滞路のオーバーヒートは引き続きできるだけ避けてください。増し締め要確認です。

**4. 距離 1600km から3000km まで**

1600km時点でもう一度エンジンのオイル交換を実施しエンジンの状態、全体の増し締めを実施します。以降は、初期点検（ナラシ用セットから通常用セットへ点火時期再調整要、キャブ再調整要）及び 定期点検を必ず行いながら3000kmまで慣らしを実施しながら距離を伸ばせたら全ナラシの工程が完了となります。完了後、増し締めは引き続き継続して、随時行ってください。

**※ 【重要】上限回転数とオーバーヒートなどエンジン限界領域について**

**ショベルエンジンやパン、ナックルなどの旧式エンジンの回転限界は、4500rpm付近が上限となります。**これを超えた運用では様々な故障を引き起こす事が解っています。レブリミッターなどの機能は付いておりません。その為、ご自身でレブリミットの上限を超えない様に十分注意してご使用して頂く必要があります。特にエンジン始動時の不用意なアイドリング設定、アクセル開度、また エンジンブレーキによる高回転減速など意図せず回転上限を超えている場合もありえます。こういった限界上限を超えたような使い方でバルブシールを痛めてしまいオイル下がりを引き起こす。ピストンリングを破損させたオイル上がりを起こす、シリンダーに傷をつけた等々、エンジンを破損させた場合はS&Sからの保証は適用されませんので、万が一、そのような理由で修理が必要となった場合、修理は自己負担となりますので十分回転数には注意してご使用ください。